



塩澤修平 教授

専門：理論経済学、金融理論、企業の社会貢献活動やNPOの理論的分析

(インタビュアー：池田・迫本)

『様々な問題・課題を社会システムが解決する！！』

Q. 塩澤先生の専門とされている研究内容はなんですか？

私はもともとミクロ経済学の理論の研究をしていまして、アメリカの大学では世代重複モデルを使った理論モデルを用いて博士論文を書きました。現在、主として研究しているのは金融現象の理論的な分析ともう一つはNPOや企業の社会貢献活動のように、市場でもなければ公的分野でもない社会システムについて注力して研究しています。自助でも公助でもない、共助のシステムである狭義の社会システムです。様々な社会問題について、どのシステムで解決すれば良いか、政府、民間営利部門、狭義の社会システムがどのように組み込まれていくかを理論的に分析するといった内容。ですから、震災の際など、自衛隊や消防など公の部分でしかできないことがあったり、民間のボランティアがあったり、あるいは企業の社会貢献があったりと、細かい問題から大きな問題まで、どこまでが政府、どこまでが市場か、または非営利団体かといったことが今の私の主なテーマになっています。特に、官ではなく民間が行う行動においてマーケットでうまくいく部分とそうでない民間部分があり、そうした問題が今は新しく注力している分野です。

ゼミでは、3つのパートに分かれていて、私の研究しているような内容の研究は応用パートで主に行っています。

『理論と現実のバランスが大切！！』

Q. 塩澤先生の教育理念を教えてください

やはり、経済学というのは現実の様々な問題や課題を解決するための手段であって、その意味ではある種のバランス感覚が必要です。理論的なところをきちんとやることも必要だし、現実的な問題をみることも必要です。一つのことを深く探求するということと同時に、ある程度広く視野を広げるといったバランスが大事です。ただ、いくら広くとはいえ、浅いものではいけませんので、何か核があって、そこをある程度極めることによって、それ以外のことについてもそれなりの洞察力が得られるといったような教育ができればいいなと思っています。

『大学は幅広い人間形成の場！！』

Q. 塩澤先生の学生時代のお話を聞かせてください

実は学生の頃経済学部に入ったのは経済学がやりたくて入った訳ではありませんでした。というのは、私も一貫校出身で、なんとなくみんなが経済学部に行くから自分も、といったような理由で積極的なものではありませんでした。ただ当時1、2年の頃に日吉での専門科目の勉強を通じて、経済学の面白さを感じました。そこからは経済学の面白さから、ちょっと真面目に勉強しようかな、と思うようになっていきました。

かつて学生時代を過ごした一人の先輩として少し言わせていただくと、学生時代というのは非常に貴重な時期ですが、自分がどれだけ恵まれた立場にいて、貴重な時間を過ごしているということをなかなか学生のうちは気づかないものです。できるだけ今の恵まれた立場というものに気がついて、有意義な時間をすごしてほしい。大学というのは狭い意味で学問や知識を身につける場ではなくて、幅広い人間形成の場です。その意味では単なる勉強のような学びだけではなく、遊びを通じて幅広い人間関係やコミュニケーションの幅を広げてほしいです。勉強するときはするし、遊ぶときは遊ぶ、貴重な時間を有意義に過ごしてほしいです。

『人とのコミュニケーションを通じて成長する！』

Q 塩澤ゼミを志望する2年生に求めるものは何ですか？

入ゼミを希望する方に対してですが、ゼミは積極的に参加する学生を求めています。三田の学生生活をどのように過ごすかというのはそれぞれの学生の価値観ですから、私から価値観を押し付けるつもりは無いけれど、ゼミに来るのであればやはりかなりの部分で時間なり労力をゼミに割ける人がきてほしいですね。中途半端な気持ちではやはり来てほしくないです。というのも、ゼミというのはある種の外部性というか、相互依存性もあって、普通の大教室の授業だったらそこにいるだけで座っていても周りにあまり影響を与えないけれど、ゼミのような少人数で行う相互依存関係がある場合は、積極的でないと周りによくない影響を与える可能性があります。積極的な人間があつまれば一人で得られること以上のものが得られます。つまり、ある種の規模の経済というか、単なる足し算以上の効果が期待されるので、人と人とのコミュニケーションはものすごく重要なのです。現代のネット社会において様々な情報が飛び交う中で、人と人とが対面でやりとりすることの重要性が高まっていて、そのためのゼミでもあります。そういった意味では、日吉時代勉強をしてこなかったとしても、三田で積極的にやろうという学生を歓迎したいです。

『よく学び、よく遊べ』

☆最後に2年生へのメッセージをお願いします☆

私は、これまで日吉の成績を提示させることをしてきませんでした。というのも過去にはもうこだわらずに、前を向いてほしいからです。だから、日吉で成績が悪くても、何年日吉で過ごしても、三田で積極的にゼミをやりたいというような人求めています。もちろん日吉やってきたことを軽視しているわけではありません、どのようなことをやってきたのかということも重要です。充実した生活を送ったうえで、三田でどういうことをやりたいか、積極的な姿勢をみせてほしいですね。ゼミというのは外部性、相互依存性があるので、そういう人達がもっと集まってより良いゼミにしていければと思っています。あとは、今しか関われないような人と関わることで、今後も長いつきあいとなって、人生が非常に豊かなものになります。世界を広げるという意味でも、人とのつながりを大事にして学生生活を送ってほしいと思います。